



組合員の購読料は
組合費に含まれます

荒川区西日暮里2-55-1
国鉄労働組合東京地方本部
発行責任者 鎌田博一
編集責任者 常盤達雄

No.1754 定価
15円

2013年
1月5日

国労東京スキー大会
2/19、20
湯沢
パーク
スキー場

し、労働条件・職場環境改善に向け全力を上げていかなければなりません。
次に、脱原発をはじめとする平和と民主主義を守る取り組みです。東日本大震災に起因して発生した「人災」である福島原発事故は、今日に至っても未だ収束せず、日本経済や国民生活に大きな不安を与えるなど復旧・復興はままならない状況です。

私たちは、一日も早い被災地の復興・復旧支援と被災地域における社会経済の再生及び生活の再建、衣食住の整備と交通インフラの復旧、防災・減災の観点からの安全対策の強化など、将来を見据えた安全で安心して暮らせる街づくりを求めていくことが急務になっていきます。

今こそ、安心・安全・平和な社会を実現させるためにも、再生可能な自然エネルギーへの転換をめざしていくとともに、米軍普天間基地移転問題をはじめ新型輸送機「オスプレイ」の強行・実戦配備反対、憲法改正など政治反動を許さないあらゆる取り組みの強化を広範な仲間とともに構築していくことが求められています。

今日までの取り組みを組織的に検証し、大胆に、そして自信と確信を持ってさらに復旧・加入を呼びかけ、組織拡大へのより大きな流れとうねりを今まで以上に作りだらされています。

最後に二〇一三年春闘は、賃上げ要求の闘いと合わせ、劣悪化する職場労働条件改善の取り組みや組織強化・拡大の取り組みと結合させ、全組合員参加の春闘を展開していかなくてはなりません。また、大幅賃上げで外需頼みの経済からの脱却を図り、大企業の社会的責任の履行を求めて労働者や国民に利益を還元させ、景気を活性化させる内需拡大への政策転換、貧困と格差の根絶、消費税増税、TPP反対、労働者派遣法の抜本改正など働くルール

の確立、安心して暮らせる社会保障制度の改正、脱原発・平和と民主主義を守る闘いなど、多くの国民的諸課題とも連動させた取り組みになることは明らかです。

地方本部としても、職場からの春闘再生と地域春闘のさらなる強化に向け、全力を上げていきたいと思えます。

当面する諸課題の実現に向け、組合員・家族の皆さんの先頭に立つ決意を申し上げ、二〇一三年新年のご挨拶とします。

2013年

安全・安定輸送と労働条件改善に全力をあげよう!

組合員・家族の皆さん、新年あけましておめでとうございます。年頭にあたり、地方本部を代表し挨拶を申し上げます。昨年、一月一六日投票の総選挙が実施されました。この総選挙は、格差と貧困を拡大する「構造改革」路線の政治を許し続け、憲法改悪・軍事大国化を推し進める自民党や維新の会などに政治を委ねるのか、それとも雇用や社会保障の拡充、憲法を生かす勢力を伸ばすかの選択が求められる「選挙」だったと言えます。

しかしながら、自民党が圧倒的勝利を収めて過半数を大きく上回る結果となりました。今後は、消費税増税や生活保護切り捨て、国防軍創設、原発と構造改革推進、憲法改正などの動きをより一段と押し進めていくことは明らかです。

私たちは、こうした情勢をしっかりと分析し、勤労国民・労働者の立場に立った安心・安定した社会の実現に向けた政治勢力の確立を目指していくとともに、護憲・平和と民主主義、脱原発を求め、全国各地での広範な仲間との連携・連帯を図らなければなりません。労働組合の任務として、想定される政治動向に着目していくことが重要になっています。

次に、国労組織にとって緊急かつ最重要課題である組織強化・拡大の取り組みについてです。地方本部は、昨年一年間で一七名の新たな仲間を国労へ迎え入れることができました。二〇〇六年の一括和解以降では七十一名の拡大であり、平成採用者からエルダー社員となった先輩たち、さらには、グリーンスタッフに至るまで幅広い年齢層、雇用形態の異なる仲間が復帰・加入



組織拡大へ大きなうねりを 執行委員長 鎌田博一

していかねばなりません。
次に、安全・安定輸送の確立と職場労働条件改善の取り組みです。JR各社では、業務委託・外注化の推進、非正規社員の拡大、システム化や検査周期の延伸など効率化と人減らし、コスト削減を基本とするあらゆる合理化施策が際限なく推し進められています。また、グループ・関連会社での死亡事故を含む労働災害の発生、労働条件の劣悪化により、安全・安定輸送の確立をはじめ安心して働き続けられる環境が奪われ続けています。「安全が最優先される」企業文化の定着と合わせ、「安全の番人・点検者」としての労働組合の役割と任務が極めて重要となっています。

「安全・仕事総点検運動」を職場に定着させ、さらなる職場からの取り組みを展開



国鉄労働組合東京地方本部

- | | |
|-----------------|-------|
| 執行委員長 | 鎌田 博一 |
| 執行副委員長 | 稲荷 靖 |
| 書記長 | 松川 聡 |
| 財政部長 | 田中 克幸 |
| 組織部長 | 宮崎 浩則 |
| 調査部長 | 海老原 悟 |
| 教宣部長 | 常盤 達雄 |
| 政治部長 | 中澤 和夫 |
| 福対部長 | 山田 博樹 |
| 法対部長 | 恒本 肇 |
| 執行委員 | 横倉 一夫 |
| 執行委員 | 岡野 嘉明 |
| 青年部長 | 中嶋 健太 |
| 青年副部長 | 木村 洋希 |
| 婦人部長 | 阿部美津子 |
| 会計監査員 | 広瀬 裕二 |
| 〃 | 岡田 直之 |
| 〃 | 吉田 茂 |
| 書記局 | 新井 清一 |
| 〃 | 井口 栄子 |
| 〃 | 小川美智子 |
| 【アベニール(株)東京営業所】 | |
| 社員 | 市村 和子 |
| 【国労東京地本議員団】 | |
| 団 長 | 佐藤 洋二 |
| 【国労家族会東京地方連合会】 | |
| 会 長 | 丸山みどり |
| 【鉄道退職者東京地方連合会】 | |
| 会 長 | 羽切 信夫 |

各地区本部催 支部大会開

上野支部

上野支部第一二六回定期大会は、一月二五日北区岸町ふれあい館で開催された。今回の大会に課された任務として、森

委員長からは ① 関連会社のプロパーなどを含めた組織の強化・拡大 ② 業務委託を含む労働条件改善と新人事賃金制度による競争主義の問題 ③ 放射能汚染と原発を無くす取り組み ④ 解雇の自由を許さない闘い、などの重要課題について、出席議員二八名、傍聴者も含めて八三名が結集した前で、熱心なあいさつが行われた。

議長には東京信号技セの森代議員、副議長には隅田川駅の西野代議員を選出し、討論では一四名の代議員が発言。グリーンスタッフ雇止めになりアクセスに採用されたが労働条件が極端に悪い。検修業務委託の今後の闘いは、JR社員と関連会社労働者の組織化の取り組み。技術継承と若い人を中心とするただ働き・過重労働の問題解消。貨物職場の要員不足と田端機関区の将来展望。団体交渉の活性化を。放射能問題。都知事選で宇都宮候補の推薦をしてほしい。などが出された。

答弁と書記長集約では、執行委員会でこの間議論してきたことを中心に、関連会社の労働者を含む組織強化・拡大が最重要課題、「鉄道事業に業務委託はなじまな



退職者の堀本事務局長から挨拶を頂き、原発事故避難者一時帰宅への動向報告など報告を頂いた。続いて松川東京地本書記長から挨拶を頂き、地本の組織拡大の取り組みと管内で十七



名が拡大がなされたと報告があった。昼食をはさんで、唐沢書記長から運動方針案の提起がされ、討論では「試験を受けたが、可否の報告が会社からなされていない」「年末に中央道の通勤があるが、小諸支店でも要員が不足している中で通勤である。訓練も特にもらえなく不安」試験を三人で受験したが、一名が一次に合格した。来年も試験に取り組んでいきたい。



中央支部は一月一〇日に、第二六回定期大会をJR新宿ビルにおいて開催した。大会議長には南澤代議員(東工所)を選出し、波能委員長からは①昨年

中央支部

唐澤書記長の集約が行なわれ、各職場の問題点を点検摘発行動で明らかにし、個々の問題を支部全体のものとして、安全・安定輸送を目指して職場の改善に取り組むとともに、組織拡大を支部の最重要課題としてとらえ、組合一人一人が取り組んでいこうと報告された。

三・一一の震災・原発問題はなんら解決されてはいないばかりか大飯原発再稼働・大間原発建設再開②野田政権はマネーフエスの反故、消費税増税、オスブレイの配備、TPPへの参加③JR内の職場問題(事故・GS・エルダー制度・組織拡大)④JR不採用の雇用問題とJAL闘争支援⑤地域共闘の意義、などのあいさつを受け、来賓(西部全労協宮崎議長・世田谷地区労花輪顧問・区労連岡村事務局次長・社民党河野新宿区議・共産党大田都議・JAL山田原告団)と上部機関の松川地本書記長の激励・情勢報告の挨拶がされた。

国労東京マラソン大会
1/12
受付 10時
桜田門 皇居
1周・2周

国労加入 呼びかけポスター募集中!

春闘標語 募集中!

歓迎! 国労加入

12/5付 55才 箱根ヶ崎駅

「がん」の保障 《生きるためのがん保険Days(デイズ)》

スタンダードプラン 入院給付金日額 10,000円の場合

初めて診断確定されたとき	診断給付金	がんの場合 一時金として 100万円 上皮内新生物の場合 一時金として 10万円
入院したとき	入院給付金	1日につき 10,000円
通院したとき	通院給付金	1日につき 10,000円
手術したとき	手術治療給付金	1回につき 20万円
放射線治療を受けたとき	放射線治療給付金	1回につき 20万円
抗がん剤治療を受けたとき(上皮内新生物は対象外)	抗がん剤治療給付金	抗がん剤治療を受けた月ごとに 1カ月 10万円 乳がん・前立腺がんのホルモン療法の際(すべての保険期間を通じ通算600万円まで) 1カ月 5万円

【引受保険会社】 アフラック東京第三法人営業部
〒163-0456 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル 当社保険に関するお問い合わせ・各種お手続き

【募集代理店】 アベニール株式会社
〒105-0004 東京都港区新橋5-15-5 交通ビル3F

コールセンター 0120-5555-95
電話 03-3437-6810 ファックス 03-3437-6822

「生きる」を創る。Aflac

◆月払保険料(団体取扱)

	35歳	45歳	55歳	65歳
男性	3,656円	5,608円	9,330円	15,190円
女性	3,734円	5,274円	6,864円	9,048円

【取りまとめ先】 アベニール株式会社 東京営業所
〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-55-1 国労東京地本内部
JR電話 054-2548 ファックス 03-3806-9275
電話 03-3806-9264

※詳しくは、パンフレット(契約概要)をご覧ください。 AF007-2011-0186 4月25日